

アイデンティティと
コミュニケーションの
関連を探究し続ける。

グローバル・
コミュニケーション学部
グローバル・
コミュニケーション学科
教授

MOLDEN
Danny T.

【学 歴】

1991年5月 米国カンザス州立大学芸術と科学学部
スピーチコミュニケーション学科 卒業
1994年2月 米国ミネソタ大学大学院スピーチコミュニケーション研究科
レトリック専攻 前期(修士)課程修了
1998年7月 米国ミネソタ大学大学院スピーチコミュニケーション研究科
レトリック専攻 後期(博士)課程修了

【職 歴】

1997年8月 米国セントクラウド州立大学 講師 (スピーチコミュニケーション担当)
1998年9月 愛知淑徳大学文学部 講師
2010年4月 愛知淑徳大学交流文化学部 准教授
2016年4月 愛知淑徳大学グローバル・コミュニケーション学部 教授

アイデンティティとコミュニケーションを研究するモルデン先生。レトリック(弁論術)を専門とし、大学時代にディベートの全米大会でチャンピオンに輝いた経験をお持ちです。現在は授業にディベートを取り入れ、学生の対話力の向上をサポート。「人との対話には、自分と相手のアイデンティティへの配慮が大切」と語り、コミュニケーション理論を探究しています。

「わたしは日系アメリカ人です」これが、自身自身のアイデンティティに関する考察の出発点でした。また、「わたしは議論(ディベート)を行うディベーターです」これが、コミュニケーションに関心を持つきっかけでした。わたしの研究は、アイデンティティとコミュニケーションの二つを結びつけるところから始まったのです。

修士論文では、アジア系アメリカ人のアイデンティティとコミュニケーションをテーマとしました。なぜなら、在米日系人の生活と、日系人が日系人以外のアメリカ人とのような関わりを持っているかに興味を持っていたからです。当時、つまり、1980年代から90年代にかけては、特に日本・中国・韓国から来たアジア系アメリカ人は、「モデル・マイノリティ」(少数派でありながら、社会平均よりも成功しているグループ。マジョリティから見ると他の移民のロールモデルになるべきと見なされていました。わたし自身がこのグループに属していましたので、社会がこのグループのメンバーを理解する(そしてコントロールする)ために、「モデル・マイノリティ」という表現をどのように用いているかを理解したいと思ったのです。

博士論文のテーマは、日系アメリカ人の強制収容所内で発行されていた新聞でした。この研究

では、日系アメリカ人同士がお互いの立場をどのように明確にしていたのか、また、他のアメリカ人との立場をどのように明確にしていたのかを知ることができました。

わたしの研究は、主にアイデンティティとコミュニケーションの関係についてのものです。例えば、エミネムや他のラッパーが「re」を歌うとはどういうことであるのか、ディズニーワールドや愛・地球博において形成される国家アイデンティティとはどのようなものであるのか、というのも研究テーマに含まれます。アイデンティティとコミュニケーションは政治とも密接に関係しており、「アイデンティティ政治」という表現もあるほどです。

トランプやバイデンのような政治家の発言は、自分自身、支持者、野党、そして国のイメージ(アイデンティティ)を定義します。政治家の発言や定義は、多くの人々の話し方や考え方に大きな影響を与えるのです。

このことを、わたしは教員としても研究者としても、常に念頭に置いています。言語とアイデンティティは、常に変化しています。だからこそ、われわれがものをどのように考え、それをどのように表現しているかを研究することは、大変興味深いことなのです。

MOLDEN Danny T. 先生の主要著書・論文

- ネットで楽しく英語コミュニケーション(共著) 2009年10月 大修館書店
- Sunshine 1, 2, 3: Sunshine English Course 1, 2, 3(共著) 2005年2月 開隆堂出版
- The Anti-Rhetorical Presidency of Donald J. Trump 2021年3月
- 愛知淑徳大学論集「グローバル・コミュニケーション」学部篇 9頁-22頁
- Speaking of Trump: Considering the influence of speechwriters 2017年3月
- 愛知淑徳大学論集「グローバル・コミュニケーション」学部篇 35頁-50頁
- Trumping Reality: Inaugurating Donald Trump's rhetorical vision 2017年3月
- 愛知淑徳大学論集「グローバル・コミュニケーション」研究科篇 53頁-62頁

